

令和6年度 第73回高等学校PTA連合会大会 2024 茨城大会 報告

◎日 時 令和6年8月22日(木) 12:20~16:50、23日(金) 9:00~12:30

◎会 場 アダストリアみとアリーナ

◎テーマ 「歴史の町で変革を!!」～新たな時代が目に入らぬか～

◎参加者 校長



◎日 程

(1) 大会1日目(8月22日) 分科会

12:20~13:00 アトラクション(茨城県内高校生による花生けパフォーマンス)

*出雲発の飛行機が遅延したためアトラクションは観ることができず

13:00~13:20 開会行事

13:30~16:30 各分科会(田村は第1分科会に参加)

第1分科会 テーマ:「教育の過去・現在・未来」

～故きを温ねて新しきを知る～

講演講師:小塚(こく) のり子 氏(弘道館事務所主任研究員)

加藤 崇英 氏(茨城大学教育学部教授)

第2分科会 テーマ:「保護者・教師・生徒が抱える問題と解決法」

～新たな一歩を踏み出すために～

講演講師:司馬 理英子 氏(司馬クリニック院長)

有馬 慧 氏(有馬総合法律事務所弁護士)

第3分科会 テーマ:「新・生きる力と家族の絆」

～子どもの心に風邪を引かせない～

講演講師:石田 千恵子 氏(7男2女の大家族お母ちゃん)

第4分科会 テーマ:「みんなで考えよう、これからのPTA」

～あるべき新しい姿とは～

講演講師:炭谷 将史 氏(花園大学社会福祉学部教授)

第5分科会 テーマ:「これからのコミュニティ・スクール」

～地域社会との新たな連携・協働～

講演講師:志々田 まなみ 氏(国立教育政策研究所総括研究官)

◎分科会

第1分科会 テーマ:「教育の過去・現在・未来」

～故きを温ねて新しきを知る～

講演Ⅰ 講師:弘道館事務所主任研究員 小塚(こく) のり子 氏

演題:藩校「弘道館」の教育



- 弘道館は旧水戸藩の藩校、9代藩主徳川斉昭が開設（1841年創建→1857年本開館式）
斉昭の七男が江戸幕府最後の将軍（15代）徳川慶喜。
- 建学の精神は「神儒一致」、「忠孝一致」、「文武一致」、「学問事業一致」、「治教一致」
- 斉昭自らが造園構想を練り、弘道館創建の翌年（1842年）に偕楽園（金沢の兼六園、岡山の後楽園と並ぶ日本三名園のひとつ）を開園。偕楽園創設の理念を記した「偕楽園記」には「一張一弛」（いちじょういちし）というキーワードがあり、文武修行の場（一張）である弘道館と、修行の余暇に心身を休める場（一弛）である偕楽園は、相互に補完し合う一対の教育施設として構想された。
- 斉昭は、偕楽園と弘道館に数多くの梅を植えた。梅の花は詩歌のよい題材となるとともに、梅干しにして飢饉の際の非常食となることから、実用を重んじた斉昭は広く植樹を奨励した。

講演Ⅱ 講師：茨城大学教育学部教授 加藤 崇英 氏

演題：もっと学校・教育がみんなに開かれる未来を展望する

- 学力向上、生きる力の育成と不登校やいじめに苦しむ子どもへの支援を両立させることが今日の学校の課題
- 説明責任、コンプライアンスが求められている
- チーム学校（SC、SSW、CN等との協働）を支える教師がますます重要
- 個別最適な学び、協働的な学び（令和の日本型学校教育）
- 学びの多様化…何をもって「学ぶ（学んだ）」とするのか？
高校の魅力化、特色化が新たな序列化に？
- 高校の学びを充実させるには、中学校の学びが重要
- 高校の学び～入試～大学の学びがシームレスにつながる
- 一人一人の可能性を高め、多様性を受け入れることができる学校へ



(2) 大会2日目（8月23日）全体会

9:00～ 9:20 アトラクション（茨城県立大洗高校マーチングバンド部によるステージドリル）

- 全校生徒 160名の小規模校ながら、普通科の中に音楽コースがあり、現在3学年合計83名（うち半数が県外からの入学生）が音楽コース＝全員マーチングバンド部員として活動。合唱にも力を入れており、混成四部合唱による『いのちの歌』（竹内まりや作詞）は圧巻。アカペラで始まり、途中から楽器演奏も加わり、涙が出るほど感動しました。



9:30~10:30 開会行事

- 来賓祝辞…阿部文科副大臣、大井川茨城県知事、志田水戸市教委教育長表彰式（全国高P連会長表彰）
- 島根県関係は、県高P連前会長、大田高校 PTA、江津工業高校 PTA

10:40~11:50 記念講演（写真撮影はNG）

講師：二所ノ関 寛（にしよのせき ゆか）氏（第72代横綱 稀勢の里）

演題：「人材育成の不易流行」

○親方の役割は、相撲部屋の経営の全責任を負う

（力士のスカウト、裏方のマネジメント、後援会）

○二所ノ関部屋の育成方法

- 伝統的な稽古法（四股、すり足、テップウなどの基礎運動）も重視しながら新たな試みを
- 土俵を1面から2面に増やす、1日2食を3食に、相撲を取らない日を設ける
- タテ社会→番付順を規律とするが、全員がフラットな立場
- コンプライアンスを重視（暴力追放）
- タブレットを活用（最近の若い力士は映像から入る方が理解が早い）
- 受け身ではなく自分自身で考え抜くような指導を意識

13:30~16:30 視察研修

○JAXA 筑波宇宙センター

- 紹介映像の視聴
- 宇宙飛行士養成エリアの見学
- きぼう（国際宇宙ステーションを構成する日本の宇宙実験棟）運用管制室の見学



H-II ロケット



きぼう（模型）



閉鎖環境訓練室



船外活動用宇宙服

（約 10 億円）

○牛久大仏

- 浄土真宗東本願寺によって造られたブロンズ立像としては世界最大（全高 120m）の阿弥陀大仏

